

平成20年6月期 第3四半期財務・業績の概況

平成20年4月25日

上場会社名 株式会社高見澤	上場取引所 JASDAQ
コード番号 5283	URL http://www.kk-takamisawa.co.jp/
代表者 (役職名) 代表取締役社長	(氏名) 高見澤 秀茂
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長	総務部長 (氏名) 小林 栄八州 TEL : (026)228-0111(代表)

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年6月期第3四半期の連結業績 (平成19年7月1日～平成20年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年6月期第3四半期	30,120	(3.5)	405	(△35.4)	349	(△40.2)	198	(△53.4)
19年6月期第3四半期	29,103	(5.7)	626	(6.0)	585	(△7.1)	425	(6.9)
19年6月期	38,924		591		563		291	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年6月期第3四半期	22	62	—	—
19年6月期第3四半期	48	52	—	—
19年6月期	33	29	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年6月期第3四半期	24,370		5,159		19.5	542	04	
19年6月期第3四半期	25,114		5,149		19.1	547	09	
19年6月期	24,514		5,090		19.0	532	29	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年6月期第3四半期	351		△459		△96		1,042	
19年6月期	△93		△881		1,122		1,249	

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金	
	第3四半期末	
	円	銭
20年6月期第3四半期	—	—
19年6月期第3四半期	—	—

3. 平成20年6月期の連結業績予想（平成19年7月1日～平成20年6月30日）【参考】

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
	38,500	(△1.1)	440	(△25.6)	390	(△30.8)	270	(△7.4)	30	83

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更に伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

〔注〕 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他の特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、米国サブプライムローン問題に端を発する信用不安や株価の暴落、原油価格の高騰及び原材料価格の上昇など懸念材料を抱えたまま推移いたしました。

当社グループの営業基盤である長野県でも、設備投資は横ばい状態で公共投資も依然縮小のまま推移しております。

このような状況のなか、建設資材事業は積極的な受注活動により増収となりましたが、価格競争激化のため減益となりました。電設資材事業は改正建築基準法による建築確認審査厳格化の影響等により減収減益となりました。石油・オート事業は原油価格高騰による販売競争が激化したことと買い控えにより減収減益となりました。請負工事事業は当第1四半期より連結子会社株式会社アグリトライの請負工事事業を連結したため増収増益になりました。また、その他事業は平成19年4月より開始しました高原生鮮野菜の販売及び株式会社アグリトライの兼業事業により増収となりましたが、原材料費の上昇等により減収となりました。

この結果、当第3四半期の売上高は30,120百万円、営業利益405百万円、経常利益349百万円、四半期純利益は198百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第3四半期末の総資産は、主に受取手形及び売掛金、有形固定資産が増加しましたが、現金及び預金、投資有価証券の減少により、前連結会計年度末より144百万円減少し、24,370百万円となりました。

当第3四半期末の負債合計は、主に支払手形及び買掛金、借入金及び退職給付引当金の減少により前連結会計年度末より213百万円減少し、19,210百万円となりました。

当第3四半期末の純資産合計は、主に利益剰余金の増加により5,159百万円となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期における現金及び現金同等物は前連結会計年度末より206百万円減少し、1,042百万円となりました。

当第3四半期における営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が増加しましたが、引当金の増加等により、351百万円増加いたしました。

当第3四半期における投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出により、459百万円減少いたしました。

当第3四半期における財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済を進めた結果、96百万円減少いたしました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績につきましては、概ね計画のとおり推移しており、現時点において平成20年2月15日に発表した通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

- ・たな卸資産のたな卸高につきましては、帳簿たな卸によっております。
- ・法人税等につきましては、簡便な方法を採用しております。
- ・その他影響額が僅少なものにつき、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期末)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	1,708	1,427			1,638
2 受取手形及び売掛金	9,052	8,661			8,330
3 たな卸資産	1,820	1,837			1,827
4 繰延税金資産	235	282			318
5 その他	438	407			595
6 貸倒引当金	△113	△134			△159
流動資産合計	13,140	12,480	△660	△5.0	12,550
II 固定資産					
1 有形固定資産					
(1) 建物及び構築物	2,725	2,778			2,633
(2) 機械装置及び運搬具	834	838			914
(3) 土地	5,844	5,879			5,867
(4) 建設仮勘定	222	205			193
(5) その他	122	122			133
有形固定資産合計	9,749	9,824	75	0.8	9,743
2 無形固定資産	191	190	△1	△0.8	190
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	445	317			420
(2) 敷金・保証金	359	380			396
(3) 繰延税金資産	108	114			121
(4) その他	1,827	1,864			1,925
(5) 貸倒引当金	△707	△801			△834
投資その他の資産合計	2,032	1,875	△157	△7.7	2,030
固定資産合計	11,973	11,890	△83	△0.7	11,963
資産合計	25,114	24,370	△743	△3.0	24,514

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期末)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年6月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	4,260	4,070			4,106
2 短期借入金	7,832	7,768			7,398
3 その他	993	867			926
流動負債合計	13,086	12,707	△379	△2.9	12,431
II 固定負債					
1 長期借入金	4,649	4,341			4,780
2 再評価に係る繰延税金負債	527	517			517
3 退職給付引当金	1,347	1,304			1,344
4 負ののれん	64	35			57
5 その他	289	305			292
固定負債合計	6,878	6,503	△374	△5.4	6,992
負債合計	19,965	19,210	△754	△3.8	19,424
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	1,264	1,264			1,264
2 利益剰余金	3,323	3,380			3,204
3 自己株式	△6	△7			△6
株主資本合計	4,581	4,637	55	1.2	4,461
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	66	36			94
2 土地再評価差額金	△37	△52			△52
3 為替換算調整勘定	182	123			158
評価・換算差額等合計	212	108	△103	△48.8	200
III 少数株主持分	355	414	58	16.4	428
純資産合計	5,149	5,159	10	0.2	5,090
負債及び純資産合計	25,114	24,370	△743	△3.0	24,514

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	前年同四半期 (平成19年6月期 第3四半期)	当四半期 (平成20年6月期 第3四半期)	増 減		(参考) 平成19年6月期
	金額	金額	金額	増減率	金額
I 売上高	29,103	30,120	1,016	3.5	38,924
II 売上原価	24,736	25,831	1,094	4.4	33,170
売上総利益	4,367	4,289	△77	△1.8	5,754
III 販売費及び一般管理費	3,740	3,883	143	3.8	5,163
営業利益	626	405	△221	△35.4	591
IV 営業外収益					
1 受取利息	2	3			5
2 仕入割引	83	85			122
3 負ののれん償却額	26	21			33
4 不動産賃貸収入	34	28			45
5 持分法による投資利益	—	47			0
6 その他	54	53			93
V 営業外費用					
1 支払利息	196	226			275
2 持分法による投資損失	12	—			—
3 為替差損	—	42			—
4 その他	33	27			52
経常利益	585	349	△235	△40.2	563
VI 特別利益					
1 固定資産売却益	5	2			13
2 受取補償金	196	—			196
3 貸倒引当金戻入益	17	19			4
4 その他	31	0			34
VII 特別損失					
1 固定資産圧縮損	168	—			168
2 投資有価証券評価損	—	19			—
3 その他	99	13			285
税金等調整前四半期(当期)純利益	568	337	△231	△40.6	358
税金費用	81	129			7
少数株主利益	62	10			59
四半期(当期)純利益	425	198	△227	△53.4	291

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区分	当四半期 (平成20年6月期第3四半期) 金額(百万円)	(参考) 前期 (平成19年6月期) 金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	337	358
減価償却費	338	428
引当金の増加額 (△減少額)	16	209
受取利息及び配当金	△6	△11
負ののれん償却額	△21	△33
支払利息	226	275
売上債権の減少額 (△増加額)	△360	△799
たな卸資産の減少額 (△増加額)	△11	△244
敷金保証金の減少額 (△増加額)	16	△7
仕入債務の増加額 (△減少額)	△23	420
その他	170	△339
小計	683	255
利息及び配当金の受取額	9	15
利息の支払額	△234	△268
法人税等の支払額	△105	△96
営業活動によるキャッシュ・フロー	351	△93
II 投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△463	△1,024
有形固定資産の売却による収入	11	53
無形固定資産の取得による支出	△10	△4
貸付による支出	△7	△27
貸付の回収による収入	15	22
その他	△4	97
投資活動によるキャッシュ・フロー	△459	△881
III 財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金純増減	381	1,575
長期借入金による収入	670	1,810
長期借入金の返済による支出	△1,118	△2,201
親会社の配当金による支出	△21	△21
その他	△7	△40
財務活動によるキャッシュ・フロー	△96	1,122
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	8
V 現金及び現金同等物の増加額 (△減少額)	△206	155
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,249	1,093
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高	1,042	1,249

(4) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

(単位：百万円)

	当四半期 (平成20年第3四半期)							
	建設資材 事業	電設資材 事業	石油・ オート 事業	請負工事 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	7,025	14,485	4,943	724	2,941	30,120	—	30,120
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	107	7	260	21	188	584	(584)	—
計	7,132	14,493	5,203	746	3,129	30,705	(584)	30,120
営業費用	6,907	14,383	5,190	736	3,046	30,264	(548)	29,715
営業利益	224	109	13	9	83	440	(35)	405

(注) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は70百万円であり、その主なものは、親会社の総務経理部門に係る費用であります。

(単位：百万円)

	前四半期 (平成19年第3四半期)							
	建設資材 事業	電設資材 事業	石油・ オート 事業	請負工事 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	6,631	14,909	5,109	398	2,055	29,103	—	29,103
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	85	4	224	249	139	703	(703)	—
計	6,716	14,913	5,334	648	2,194	29,807	(703)	29,103
営業費用	6,315	14,695	5,315	651	2,061	29,039	(562)	28,476
営業利益又は 営業損失(△)	400	217	18	△3	133	767	(141)	626

(注) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は165百万円であり、その主なものは、特定のセグメントに区分できない管理部門に係る費用であります。

(単位：百万円)

	(参考) (平成19年6月期)							
	建設資材 事業	電設資材 事業	石油・ オート 事業	請負工事 事業	その他 事業	計	消去 又は全社	連結
売上高								
(1) 外部顧客に対 する売上高	8,494	20,491	6,570	472	2,894	38,924	—	38,924
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	103	9	291	257	184	845	(845)	—
計	8,598	20,500	6,861	730	3,078	39,770	(845)	38,924
営業費用	8,228	20,273	6,878	731	3,006	39,118	(784)	38,333
営業利益又は 営業損失(△)	370	227	△16	△1	72	652	(61)	591

(注) 営業費用のうち消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は63百万円であり、その主なものは、親会社の総務経理部門に係る費用であります。

[所在地別セグメント情報]

全セグメントの売上高の合計額に占める「本邦」の割合がいずれも90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。